

# 江別市 予算案

## 令和2年度

### 基本方針

令和2年度は、「えべつ未来づくりビジョン」の後期5年間の2年次目となります。  
「えべつ未来づくりビジョン」に掲げた「4つのまちづくりの基本理念」と、基本理念の根幹となる「協働のまちづくり」の考え方を踏まえてまちづくりを進めます。

#### 基本理念

安心して暮らせるまち

活力のあるまち

協働のまちづくり

子育て応援のまち

環境にやさしいまち

### 予算編成のポイント

令和2年度当初予算は、この基本理念に基づいてまちづくりを進める「まちづくり政策」を推進するため、重点的・集中的に取り組む「えべつ未来戦略」を政策の中核に据えて取組を推進します。

また、人口減少と地域経済縮小の克服、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立のため、「江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を効果的に進めていきます。

#### 安心して暮らせるまち

- ・介護人材養成支援事業
- ・生涯活躍のまち整備事業
- ・健康づくり推進事業
- ・地域防災力向上支援事業
- ・庁舎等耐震化関連経費
- ・消防通信指令システム共同整備事業
- ・除排雪事業

#### 活力のあるまち

- ・江別まちなか仕事プラザ事業
- ・市民交流施設関連経費
- ・市民文化ホール施設改修事業
- ・オリンピック・パラリンピック推進事業
- ・スポーツ合宿誘致推進事業
- ・はやぶさ運動広場移転事業
- ・総合特区推進事業

#### 子育て応援のまち

- ・子ども医療費助成事業
- ・子ども家庭総合支援拠点運営経費
- ・子育て世代包括支援事業
- ・小中学校ICT環境整備事業
- ・待機児童解消対策事業
- ・放課後児童クラブ運営費補助金
- ・病児・病後児保育事業

#### 環境にやさしいまち

- ・環境クリーンセンター基幹的設備改良事業
- ・ごみ収集運搬業務委託
- ・環境教育等推進事業
- ・リサイクルバンク運営事業
- ・ごみ排出抑制啓発事業
- ・野生鳥獣等保護管理事業
- ・自治会防犯灯設置費補助金（LED化）

### 予算規模（各会計予算額）

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	増減	率
一般会計	45,820,000	45,010,000	△810,000	△1.8%
特別会計	24,258,000	24,488,000	230,000	0.9%
企業会計	17,628,911	16,933,762	△695,149	△3.9%
全会計	87,706,911	86,431,762	△1,275,149	△1.5%

一般会計は450億1千万円で、前年度から8億1千万円（1.8%）減少しました。

これは、プレミアム付商品券事業や江別の顔づくり事業の終了などによるものです。

全会計合計では、864億3,176万2千円となり、前年度から12億7,514万9千円（1.5%）減少しました。

だれもが健康的に安心して暮らせるえべつをめざします

健康都市推進事業

2,411 千円

全ての市民が生涯を通じて健康に過ごせるように、「健康都市宣言」に基づき、健康意識向上のための取組を推進します。

- ◆ 生活習慣病予防に向けた野菜摂取の推進
- ◆ 健康チェック等体験型イベントの実施



野菜ソムリエによる野菜摂取啓発イベント



江別オリジナルリズムエクササイズ「E-リズム」

健康づくり推進事業

4,996 千円

第2次えべつ市民健康づくりプラン21に基づき、生活習慣病の予防や、こころの健康づくり等の取組を行い、地域の健康づくり活動を推進します。

- ◆ 自殺予防のための相談先一覧カードの普及
- ◆ 自殺予防ゲートキーパー養成研修
- ◆ 健康づくり推進員の活動支援

健康教育事業

1,124 千円

生活習慣病の予防や健康保持増進のため、食生活の改善や運動習慣の定着など健康づくりを推進します。

- ◆ 健康づくりサポーター養成講座の実施
- ◆ 喫煙予防教室の実施（小学生）
- ◆ 生活習慣病予防教室の実施（中学生）

成人検診推進事業

79,361 千円

がんの早期発見、早期治療による重症化の予防のため、がん検診の受診勧奨を行います。

- ◆ がん検診の実施
- ◆ 集団検診事務の一括委託化  
(受付業務、電話受診勧奨、WEB予約運用)



(参考) 特定健康診査等事業  
(国民健康保険特別会計)

68,142 千円

国民健康保険被保険者に対する特定健康診査や特定保健指導を実施します。また、特定健康診査受診率や特定保健指導利用率向上のための取組を行います。

- ◆ **拡大** 北海道国保連合会の共同事業を活用した受診勧奨パンフレットの送付
- ◆ けんしん受付ダイヤルと連携した電話勧奨
- ◆ 保健師による低受診率地区への訪問勧奨



特定保健指導



リハビリテーション職による介護予防体操指導

(参考) 一般介護予防事業（「通いの場」を活用した介護予防・健康づくり）  
(介護保険特別会計)

5,755 千円

要介護状態・要支援状態になることを予防し、社会に参加しつつ地域において自立した日常生活を営むことができるように、介護予防の普及啓発に取り組みます。

- ◆ 住民主体の「通いの場」支援
- ◆ 介護予防教室、出前講話等の実施
- ◆ リハビリテーション職による地域活動支援

**新規** 介護人材養成支援事業

10,884 千円

市と市内の介護事業者が連携を図り、入門的研修による新規人材の発掘や介護事業所での実習などの就労支援の実施により、介護人材の確保と市内の介護事業所への定着を図ります。

- ◆ 介護に関する入門的研修の実施
- ◆ 介護職員初任者研修の受講による資格取得及び市内の介護事業所での職場実習

介護サービス提供基盤等

整備事業 79,785 千円

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、介護保険サービスの基盤整備を推進します。

- ◆ 地域密着型サービスの整備

障害者社会参加支援事業

5,607 千円

専任手話通訳者の配置や手話通訳者・要約筆記者の派遣、点字・音声による広報えべつ等の発行など、障がい者の自立や社会参加を促進します。

- ◆ 手話通訳者・要約筆記者の派遣
- ◆ 「点字広報」、「声の広報」の発行
- ◆ タブレットによる「遠隔手話サービス」の提供

障害者就労相談支援事業

9,719 千円

障がい者の就労に関する相談、企業の障がい者雇用に関する相談窓口の設置など、障がい者の社会的自立を促進します。

- ◆ 障がい者や企業からの総合的な就労・雇用相談、障害福祉サービスとのマッチング
- ◆ 就労者への職場巡回、来所相談等による定着支援

市民後見推進事業

9,757 千円

成年後見制度の普及や市民後見人の活動体制を整備するため、相談機関の運営や人材育成に取り組みます。

- ◆ 成年後見支援センターの運営
- ◆ 市民後見人フォローアップ研修
- ◆ **新規** 市民後見人養成講座



市民後見人フォローアップ研修

その他主要事業（政策03）

■ 社会福祉協議会補助金	99,822千円
■ 夜間急病センター運営経費	147,873千円
■ 高齢者予防接種経費	56,686千円
■ 障害者自立支援給付費	3,154,802千円
■ 障害者自立支援給付費（児童）	861,950千円
■ 自立支援医療給付費	188,444千円
■ 重度心身障害者医療費助成事業	211,217千円
■ 生活困窮者自立支援事業	28,311千円

■ 年末見舞金支給事業	12,189千円
■ 福祉除雪サービス事業	21,737千円
■ 老人ホーム入所措置経費	68,805千円
■ 生活扶助自立助長支援事業	2,592,000千円
■ 国民健康保険会計繰出金	1,040,213千円
■ 病院事業会計繰出金	1,693,119千円
■ 介護保険会計繰出金	1,539,889千円
■ 後期高齢者医療会計繰出金	434,876千円



未来のえべつを支える元気で情操豊かな子どもたちの育成をめざします

子ども医療費助成事業

180,542 千円

子どもの医療費の一部を助成することで保護者の負担軽減を図ります。

令和2年8月診療分から

◆ **拡大** 小学1年生～小学3年生の通院医療費助成

◆ **拡大** 中学生の入院医療費助成

課税世帯 3割負担(助成なし) ⇒ 1割負担

非課税世帯 3割負担(助成なし) ⇒ 初診時一部負担金のみ

**新規** 子ども家庭総合支援拠点

運営経費

6,549 千円

児童虐待防止対策強化のため、支援が必要な子どもとその家庭及び妊産婦等を関係機関と連携しながら支援し、児童の健全な育成を図ります。

- ◆ 子育て世帯等への相談・情報提供
- ◆ 要保護児童・特定妊婦等への支援
- ◆ 福祉、保健・医療、教育等の関係機関との連携調整

子育て世代包括支援事業

13,597 千円

妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行うことで子どもを産み育てやすい環境を整え、子育てや乳幼児の健全な育成を支援します。

- ◆ 妊婦面接・支援プランの作成
- ◆ 産後ケア事業
- ◆ 産婦健診
- ◆ 巡回型親子健康相談

待機児童解消対策事業

18,149 千円

待機児童の解消に向け、受け皿となる教育・保育施設等に対し、保育従事者の養成や保育士等の人材確保のための助成を行います。

- ◆ 子育て支援員研修
- ◆ **新規** 保育士等奨学金返還支援事業
- ◆ **新規** 保育士等宿舍借上支援事業
- ◆ **新規** 保育施設見学バスツアー

教育・保育施設等給付事業

2,872,496 千円

民間法人等が運営する教育・保育施設等に対し、国が定める公定価格に基づく給付費を支給するほか、認可外保育施設等の無償化にかかる給付費を支給します。

- ◆ 教育・保育施設等への給付費支給
- ◆ 国の制度に基づく幼児教育・保育の無償化



保育園の地域清掃活動

民間社会福祉施設整備費

補助事業 182,431 千円

民間事業者が行う保育施設の整備に対し補助を行うことで、快適な保育環境の整備や待機児童の解消を促進します。

- ◆ 民間保育施設整備に対する補助(3施設)
- ◆ 民間保育施設の建設費償還金補助

病児・病後児保育事業

34,638 千円

病児・病後児保育を実施している事業者に対し、運営費の一部を補助します。

- ◆ **拡大** 病児・病後児保育実施事業者への補助(1施設→2施設)
- ◆ 感染症流行情報等の発信、保育施設の巡回・情報共有に対する補助

保育料の独自軽減

「えべつ・安心子育てプラン(江別市子ども・子育て支援事業計画)」に基づき、子育て家庭への経済的負担を考慮し、引き続き0～2歳児の保育料の軽減を図ります。

- ◆ 市の独自軽減率 25.82%

※3歳児以上の保育料は令和元年10月から無償となりました



やよい保育園(餅つき)

情報教育推進事業

83,507 千円

児童生徒のICT教育を推進するため、パソコンや指導者用デジタル教科書などの情報機器を整備します。

- ◆ **新規** 指導者用デジタル教科書の整備（小学校の外国語）
- ◆ 指導者用デジタル教科書の更新（小学校の国語・算数）
- ◆ 教育用パソコンの更新（償還金）

**新規** 小中学校ICT環境整備事業

38,068 千円

教育の情報化を進めるためにICT環境を整備するとともに、校務の効率化による教職員の働き方改革を推進します。

- ◆ **新規** 校務支援システムの導入（市内小中学校全校）
- ◆ 校務用パソコン等ICT機器の維持管理経費
- ◆ 校務用パソコンの更新（償還金）

小中学校学習サポート事業

9,223 千円

退職教員などを活用し、複数の教員が指導するチーム・ティーチングや、補充的学習を実施することで、子ども達の学力向上に取り組みます。

- ◆ 複数教員による指導（小・中学校）
- ◆ 夏季・冬季休業中の補充的学習（小・中学校）
- ◆ 放課後の補充的学習（中学校）



複数教員による指導



外国語指導助手による授業

小中学校外国語教育支援事業

34,953 千円

低学年から英語に慣れ、コミュニケーション能力の素地を養うため、英語を母国語とする外国語指導助手が、小学校で外国語教育を行います。

また、小学校高学年と中学校の英語の授業時に、外国語指導助手を派遣し、チーム・ティーチングを行います。

- ◆ 外国語指導助手の配置（10名）

児童生徒体力向上事業

648 千円

北翔大学の協力のもと、小学校低学年向けに基礎的な運動を継続的にできる「朝運動プログラム」を実施します。

- ◆ 朝運動プログラムの実施（文京台小）
- ◆ 出前授業の実施（5校予定）
- ◆ 走り方教室の実施



児童生徒体力向上事業 出前授業

医療的ケア児支援事業

265 千円

学校に看護師を配置し、医療的ケアを必要とする児童生徒への支援を行います。また、医療的ケア運営協議会において実施に関する協議を行い、支援の際には安全かつ適正に医療的ケアを行います。

- ◆ 看護師3名を学校に配置
- ◆ 医療的ケア運営協議会の運営



スクールソーシャルワーカー事業

7,459 千円

いじめ・不登校・非行など問題を抱える児童生徒やその保護者に対し、スクールソーシャルワーカーが福祉分野の専門的な知識や経験を活用して支援します。

- ◆ 問題を抱える児童生徒に対する支援
- ◆ 学校・家庭・関係機関との連携調整

## 政策06 子育て・教育

### 放課後児童クラブ 運営費補助金 135,134 千円

民間放課後児童クラブに対し、設置・運営に係る費用の一部を助成し、市内における放課後児童健全育成の充実に図ります。

- ◆ 民間放課後児童クラブへの運営費補助
- ◆ 新設民間放課後児童クラブへの施設整備等補助
- ◆ **拡大** 待機児童の発生が見込まれる小学校区に新規クラブを開設



児童センターでの活動

### 放課後児童クラブ運営事業 16,146 千円

公設放課後児童クラブの運営を民間事業者に委託し、放課後に親子共々安心できる「生活の場」を提供します。

- ◆ 江別第一小学校放課後児童クラブの運営委託



### 児童館地域交流推進事業 62,564 千円

市内7か所の児童センターにおいて、地域との交流を通して、遊び・行事・イベントなどの活動を実施します。また、併設された2か所の公設放課後児童クラブを運営します。

- ◆ 児童センター（7館）の運営
- ◆ 放課後児童クラブ（2クラブ）の運営

### 放課後児童クラブ 待機児童対策事業 4,633 千円

放課後児童クラブにおける待機児童対策として、児童センターにおいて受け入れ体制の拡大を図り、子育てと就労の両立を支援します。

- ◆ 待機児童のランドセル来館による受け入れ
- ◆ 児童が放課後等に安全に過ごすことができる場の提供

### あそびのひろば事業 2,666 千円

地域の子ども遊びの場として、また、子育てに関する情報交換や交流の場として、民生委員・児童委員や子育てサポーター協力のもと、あそびのひろばを開催します。

- ◆ 地域あそびのひろばの開催



子育てひろば『ほこ あ ほこ』

### 親子安心育成支援事業 (子育てひろば事業) 26,687 千円

商業施設内に開設した子育てひろば『ほこ あ ほこ』を運営します。季節や天候を問わない室内型で、大型遊具やクライミングウォールなどを備え、子どもが自由に遊べる空間を提供します。

- ◆ 子育てひろば『ほこ あ ほこ』の運営
- ◆ 子育て講習会等の開催
- ◆ 子育て支援コーディネーターによる子育て相談
- ◆ 託児ルームの併設

### その他主要事業（政策06）

■ 保育園運営経費	118,596千円
■ 児童扶養手当	471,207千円
■ 児童手当	1,582,275千円
■ ひとり親家庭等医療費助成事業	40,950千円
■ 障害児通所支援事業運営費	22,334千円
■ 予防接種経費	207,734千円
■ 妊婦健康診査経費	49,589千円

■ 私学助成幼稚園給付事業（幼児教育無償化）	85,909千円
■ 私立幼稚園補助金（運営費補助金）	4,412千円
■ 特別支援教育推進事業	38,283千円
■ 特別支援学級生活介助事業	55,562千円
■ 学校給食事業	265,932千円
■ 小・中学校教育扶助費	185,600千円